

## 議会報告会実施報告書(第1部)

日 時	令和 2年 11月 15日 (日) 10時 00分 ~ 11時 35分		
開催方法	オンライン開催	代表者	柳田 秀憲
出席議員	山内 幹郎、桜井 直人、栗原 貴司、竹村 雅夫、加藤 一		
役割分担	報告者	栗原 貴司	
	司 会	柳田 秀憲	挨拶 加藤 一
参加人数	16名		
経過記録	開 会 (10時00分)		
	説 明 ( 10時 00分 ~ 10時 15分)		
	意見交換		
	(1)ディスカッション( 10時 15分 ~ 11時 27分)		
	(2)講評・まとめ ( 11時 27分 ~ 11時 30分)		
	(3)所 感 ( 11時 30分 ~ 11時 35分)		
	閉 会 ( 11時 35分)		
意見交換の概要 (主な意見・質問 等及び答弁)	<p>①ステージ(コロナ禍により困っている事) * 感染や感染させるリスクがあるので外出が出来ないが、開いている店舗に人が密集している。 * 学校にあるパソコンが持ち帰りが現在は出来ない。</p> <p>②ステージ(10年後のコロナ時代の未来予想をどう描くか) * 今後はウェブ上の仕事や強化をしていく事で経済を活性化させ、地産地消の促進も進めるべき。 * オンラインを強化する事で地元(地方)等でも授業が受けられると過疎化の抑制にもなる。</p> <p>③ステージ(藤沢市役所に期待することは何か) * PC等の購入補助(3割程度)やネット環境の強化・公共施設等のパソコンの市民開放を! * 地域の伝統文化行事(祭り等)の開催方法の検討や継承を大事にしていく。</p> <p>④(③を踏まえて私たち(市民)ができる事は何か) * 他人に不安を与える様な行動は慎んで、感染予防の強化や規則正しい生活を。</p>		
その他(今後の 課題・感想等)	* 現在年1回の開催を致しておりますが、今後は様々な中学校や高校等と協議をし今回参加をいただいた鶴沼中学校以外とも交流をし、開催回数を増やす等の取り組みを行う様にしていくなぎと共に、一般市民の方々とも定期的に意見交換会をウェブ等を活用し開催をするべきだと思います。		

広報広聴委員会委員長 様

令和 2年11月15日

上記のとおり開催しましたので報告します。

栗原 貴 司

## 議会報告会実施報告書(第2部)

日 時	令和 2年 11月 15日 (日) 13時 00分 ~ 14時 30分		
開催方法	オンライン開催	代表者	桜井 直人
出席議員	原田 建、甘粕 和彦、平川 和美、柳田 秀憲、有賀 正義		
役割分担	報告者	甘粕 和彦	
	司 会	桜井 直人	挨拶 有賀 正義
参加人数	18名		
経過記録	開 会 ( 13時 00分)		
	説 明 ( 13時 00分 ~ 13時 15分)		
	意見交換		
	(1)ディスカッション( 13時 15分 ~ 14時 10分)		
	(2)講評・まとめ ( 14時 10分 ~ 14時 25分)		
	(3)所 感 ( 14時 25分 ~ 14時 30分)		
閉 会 ( 14時 30分)			
意見交換の概要 (主な意見・質問 等及び答弁)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で困っている事: イベント等の中止・公共交通機関での感染防止対策が不十分であること・公共施設等の使用が制限されていること等が挙げられた。</li> <li>・10年後の藤沢の未来: コロナ禍によって生じた良い変化・悪い変化をそれぞれ参加者に挙げてもらった。</li> <li>・市でやってもらいたい事: Wi-Fi環境の整備やIT等に関する講習の実施・広報等を通じての感染者数や回復者数の周知・TikTok、インスタ、YouTube等を利用した情報発信・医療従事者やコロナの後遺症を患う方への差別をなくすような取組実施・安全対策を講じていることを示すステッカー等の店舗への貼付等の意見が挙げられた。</li> <li>・私たちが担える役割、総評: 公衆衛生や偏見の除去等の共通理解を深め、新しい生活様式を徹底していくこと・高齢者の方々も含めた多世代との交流を促進すること・SNSの力を再認識し、今後もアンテナを高くして情報リテラシーを通じて情報収集に努めていくこと・新しい生活様式におけるマスク等でもオシャレを意識しトレンドを創っていくこと・様々な世代や経験、業界の人々の意見や立案した事業をSNS等を通じて共有し、私たちが率先して広めてゆくこと等が挙げられた。</li> </ul>		
その他(今後の 課題・感想等)	上記に集約		

広報広聴委員会委員長 様

令和 2年 11月 15日

上記のとおり開催しましたので報告します。

甘粕 和彦

## 議会報告会実施報告書(第3部)

日 時	令和 2年 11月 15日 (日) 15時 00分 ~ 16時 30分		
開催方法	オンライン開催	代表者	柳田 秀憲
出席議員	清水 竜太郎、山口 政哉、吉田 淳基		
役割分担	報告者	山口 政哉	
	司 会	牧瀬 稔	挨 拶 柳田 秀憲
参加人数	16名		
経過記録	開 会 ( 15時 00分)		
	説 明 ( 15時 00分 ~ 15時 15分)		
	意見交換		
	(1)ディスカッション( 15時 15分 ~ 16時 20分)		
	(2)講評・まとめ ( 16時 20分 ~ 16時 25分)		
	(3)所 感 ( 16時 25分 ~ 16時 30分)		
	閉 会 ( 16時 30分)		
意見交換の概要 (主な意見・質問 等及び答弁)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における現場で起きている行政運営の課題 イベント等がなく、コミュニケーション不足、予算の見込み減、住民サービスの低下</li> <li>・コロナ禍における企業活動の変化 人の移動や人と人が会わなくなり、生産性の向上の低下 デジタル化による短所が見えた。就職活動や新入社員研修の縮小</li> <li>・行政と民間の「公民連携」の可能性を探る 主にデジタル化とコミュニケーションについて 議員と企業とのパイプ役、意見交換、電子政府化など…</li> </ul>		
その他(今後の 課題・感想等)	<p>公民連携において、公平性をどのように保っていくのか？ 企業にはビッグデータの情報共有(可視化やデータ化)</p>		

広報広聴委員会委員長 様

令和 2年 11月 15日

上記のとおり開催しましたので報告します。

山口 政 哉